



長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより14号
発行日/2018年7月10日
発行/長後地区郷土づくり推進会議
責任者/市川勤
事務局/長後市民センター
電話/0466-44-1622
FAX/0466-46-7034

郷土づくり推進会議と市長・副市長との意見交換を実施!!

長後地区郷土づくり推進会議では、平成30年4月20日(金)午後2時から、長後市民センターにおいて、鈴木市長・小野副市長・宮治副市長他と、「長後地区の交通不便地域解消について」意見交換を実施いたしました。

以下、意見交換の主な内容を掲載いたします。



◆ テーマの背景

- ・平成23年、地域経営会議（郷土づくり推進会議の前身）で、道路に関する調査を実施。平成26年に道路安全実態報告書を市へ提出した。地理的条件等で一部改善できていない箇所も残っているのが現状。
- ・平成28年度郷土づくり推進会議にて、地域全般に関するアンケートを実施。道路や交通安全の問題、コミュニティバスを要望する意見が出てきた。
- ・平成29年度に新たに交通手段支援部会を設置。実態把握のため、地区内39自治会全戸へ「新たな交通移動手段を検討するためのアンケート」を実施した。

【結果】

不便率40%以上：5自治会
30%以上：5自治会
20%以上：9自治会



ふじキュン©

郷土づくり推進会議委員からの報告・意見

- ◆ アンケートの実施について
回答者になるべく簡潔に答えられるよう心がけた。
- ◆ アンケートの配布・回収について、
自治会連合会で呼びかけ自治会の皆様の協力を得たことが、回収率の高さにつながったのではないかと。今後、集計結果を細かく分析し、次に進みたい。

◆ 不便率の高い地域の現状について

* (長後通り北部第三自治会在住)

不便率48.6%の区域に居住している。民生委員をやっており、最近2人の方から「福祉タクシーはないか」相談を受けた。市役所に確認し、2か所案内したものの、費用や連絡の面で課題があり、利用には至らなかった。タクシーを利用すると、障がい者手帳の割引はあっても費用は高くなる。

* (上合自治会在住)

日常的に車を運転しており、下土棚から横浜方面または藤沢方面道路をよく利用している。長後駅前交差点箇所はかなり前から朝晩必ず渋滞しており、改善されていない。高倉下長後線等、都市計画道路の整備が一向に進まず、裏道を使わないと利便性が低い。市営長後住宅は入居者が高齢化し、バス停までの距離も遠いので、コミュニティバスを要望している声を聴く。

◆ 今後に向けての委員の意見

- * 行政区間を跨いだ新しいシステムの構築が必要。
- * 長後と高座渋谷を結べば動線がうまくいくのでは。
- * コミュニティバスを通す他にも、タクシー助成の補助率を上げるなどの方法も。

*いかにコストを抑えて、利便性を上げるかが大切。
 *ひとり暮らし高齢者が病院・買い物に行く際に、
 どうフォローしていくかが大事。商業施設や病院
 と連携しながらやっていかないと、実績が伴わな
 かったら市の財政ばかり膨らんでしまうケースに
 なりかねない。他地区を参考にしながら、慎重か
 つ大胆に取り組んでいきたい。



理事者の意見
 ~委員からの報告・
 意見を受けて~

●公共交通については、本当に困っている地域の調
 査や目的地・交通手段の検討等様々な手順が必要
 となる。最近では、病院や介護施設の送迎車を活
 用できないかという声も。委員の皆様でご検討い
 ただき、地域の皆さんに喜んでいただけるかたち
 になれば。 (宮治副市長)

●藤沢型地域包括ケアシステムの検討の中で、生活
 環境を考える部会を立ち上げており、移動支援と
 いう視点もある。公共交通機関として成り立たせ
 る交通手段と、リハビリで病院に行ったり、デイ
 サービスで介護施設に通ったりと個別対応で成り
 立たせる交通手段と双方から発想を持って考えて
 いければ。 (小野副市長)

●齟齬が生じないように、市側と皆様とで共通認識を
 もっていかなければならない。善行地区について
 も、課題が山積し、紆余曲折を経て現在に至る。
 市外との連携等、色々と検討していく中でご相談
 させていただきたい。 (鈴木市長)

～ 交通手段支援事業の今後の方針 ～

今後、アンケート結果を基に、不便率の高い地区
 に対し、さらに詳細なアンケート調査をお願いして
 いく予定です。ご理解・ご協力くださいますようお
 願い申し上げます。

名所・旧跡説明板の設置

平成30年3月末に、長後地区内5カ所に名所・旧跡
 説明板を6基設置しました。

今年度についても、5カ所程度設置予定です。お近
 くを通りがかりましたら、ぜひご覧ください。

ふじキュン©

子どもの笑顔、にぎわう
第10回 花フェスタ開催

5月12日(土)長後花いっぱい運動推進委員会主催の
 花フェスタを開催しました。

好天にも恵まれ、300名を超える来場者にお越し
 いただきました。10個を超えるブース出店や児童ク
 ラブのリズムけん玉や、バルーンアート、チェンソー
 アート、野点等10周年にふさわしいフェスタを開催
 することができました。

地域のみなさま、ご協力ありがとうございました。



編集後記

世界人口約74億人のうち、15億人が注目する、2018年FIFAワールドカップサッカー
 シア大会。西野新監督の手腕が期待されるが、何とか、予選を突破してほしい。自宅前
 にサムライブルーJFA応援旗を掲げて予選突破を望む！この記事が発行される日には結果が出ている。「残っ
 ていれば奇跡」決勝は7月15日。サムライブルー応援の熱に負けないくらい、長後のまちづくりにも熱を持って
 取り組んでいきたい。皆様もご理解・ご協力よろしく申し上げます。 (小野正裕)